



▲アジのアベレージは30〜35センチ前後

ほんとに
釣れてる
アジ



▲釣り場は日立沖の水深30〜50メートル前後



▲アジが掛かると緩めに調整したドラグから道糸が引き出されていく



▲当日最大の39センチ。日立沖では45センチ級のアジも釣れるという
▶大アジはタモを使って取り込む



▼体高がある35センチのアジ



#吉岡進の新世代沖釣り紀行 vol.14

ツリガチ!

茨城県日立沖のバチコンアジング

撮影/文◎本誌編集部



▲ヨッシーが釣り上げた36センチのアジ

★日立沖のバチコンアジングは大アジぞろいので引きも強い

なんだあ
この海域は?

ほんとに
釣れてる
アジ

この釣り
だれにでも
チャンスがある
色いろ
やつてる
ゴーさんに
釣れるん
だから!

★アジのアタリをとらえてフッキング。このあとスリル満点のファイトが繰り広げられる

ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず様々な釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ!」。第14回は茨城県日立沖のバチコンアジング。バチコンとはバチカルコンタクトの略称で、軽量のジグヘッドに3インチ前後のソフトルアーを付けた胴つき1本バリ仕掛けを船下に投入してアジを狙う釣り方。
6月下旬に釣行したのは茨城県日立久慈漁港の釣友丸。当宿でバチコンアジングがスタートしたのは今年6月。本誌コラム『釣具店の独り言』でおなじみのシャイアント水戸南店の大山雅幸さんが、SLJ(スーパーライトジギング)でアジが釣れたので試しにバチコンで狙ったところよく釣れたというのがきっかけ。これを機にバチコン、SLJ、サビキなど自由な釣り方で楽しめるアジ船が始まった。

◀日立沖バチコンアジングのバイオニア・大山雅幸さん(写真提供・釣友丸)



◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!



▲誘いを入れて数秒待ち、竿先に出る小さなアタリを見逃さないよう注視

